

Olayinka H. Babalola
2026-27 President
Rotary International



CREATE
LASTING
IMPACT



2026-2027年度 国際ロータリー第2540地区

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

July
2026
7
vol.01

ロータリー特別月間 7月

母子の健康月間

Rotary 持続可能なインパクトを
第2540地区 生み出そう

2026-2027年度 ガバナー 土 舘 守
2026-2027年度 国際ロータリー会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ

目 次

ガバナー就任のご挨拶	2
国際ロータリー会長のご紹介とメッセージ	3
地区スローガン	5
地区方針	6
ガバナー補佐活動計画	7~11
委員会活動計画	12~21
地区主要行事・予定表	22
地区組織図	23
青少年交換プログラム 報告	24
新会員紹介	25
物故会員	26
2026年5月会員数の増減	27

ガバナー就任のご挨拶

国際ロータリー第2540地区
2026-2027年度ガバナー

土 館 守 (大館ロータリークラブ)

国際ロータリー第2540地区ロータリアンの皆様、2026-2027年度ガバナーに就任しました、大館ロータリークラブの土館守です。よろしくお願いいたします。

新しい年度に入り、皆様には希望と不安の中で、船出をした方が沢山おられるかと思っています。これから、人口減少の秋田県の中でいかにクラブを維持するか、又、いかにクラブの事業を維持するか、悩んで居られる方が多いと思います。しかし、皆さんの中には、会社などの事業を営んでいる方が沢山おられるかと思っています。会社の事業の場合、人口減少だからと言って、売り上げ減少をあきらめることなく、新規顧客の開拓や、新分野の開拓に力を注いで、売り上げや利益を維持しようと考えざるを得ません。ロータリーも同じです。今までの人的ネットワークの深堀や、未加入の職業分類の会員開拓を実施すれば、まだまだ2540地区の維持は可能であると、私は思っています。

2024年1月のRI理事会の決定事項により、第2540地区は、2027年1月1日に会員数が1,100名を割ると、他地区と合併させられます。何としても合併は阻止したいと決意しております。とはいえ、1980年代では125万人いた秋田県の人口は、現在6月1日の時点で、86万5千人です。また、出生率も1.05人で31年連続最下位となっています。この中で、会員数を維持していくためには、更なるリクルート活動の強化と、退会防止のために、ロータリー活動の魅力アップを図らなければならないと考えております。

ロータリー活動の魅力の1つが、職業奉仕の充実です。職業上の繋がりが、ロータリークラブに入会するキッカケとなった方は沢山おられるかと思っています。そして、入会することで、様々な職業上のヒントを得られたり、人生の生き方を学べる貴重な場となっているかと思っています。今年度は職業奉仕の活性化に力を入れていきたいと思っています。

ガバナーノミニ・ガバナーエレクト時代を



プロフィール

- 生年月日：1951年2月1日
- 所 属：大館ロータリークラブ
- 職 業：水産業・魚市場
- 職 歴：大館市青果魚類卸売株式会社
代表取締役会長
- 公 職：全国青果卸売市場協議会 副会長
- ロータリー歴：2006年3月22日入会
 - ・会 長 2010～2011年
 - ・会 長 2021～2022年
 - ・幹 事 2015～2016年
- [地区]
 - ・会計長 2013～2014年
 - ・副幹事 2020～2021年
 - ・ガバナー補佐 2022～2023年

2013～2014年度 ポール・ハリス・フェロー
2025～2026年度 メジャードナー レベル1
2025～2026年度 第5回 米山功労者マルチプル

通じて日本34地区の同期の方々と交流を深めてまいりました。その中で感じたことは、秋田県人は積極性が足りないと思いました。これは、かつて、鉱山や木材そして米の産地として天然資源に恵まれ、黙っていても豊かに暮らせた時代の名残りではないかと考えております。しかし、これからは人智の時代です。それはITやAIを駆使して従来の仕事を置き換えるのではなく、いかに新しい価値を創造するか、いかに革新的なアイデアを創造できるかが勝負の分かれ目になって来ると思います。その為には意欲的、積極的な行動が欠かせません。ロータリアンの皆様には、是非、模範を示していただければ幸いです。それが、秋田県の人口減少に歯止めをかける第1歩ではないかと考えております。地区内ロータリアンの皆様、積極的な仲間を増やし、奉仕活動に邁進して、地域の活性化に貢献しようではありませんか。私はガバナーとして先頭に立って頑張ってまいりたいと考えております。ぜひ皆様のご協力を、お願い致します。

国際ロータリー会長のご紹介とメッセージ



2026-2027年度
国際ロータリー会長

オラインカ・ハキーム・ババロラ

(ナイジェリア・リバーズ州
トランス・アマディ・ロータリークラブ)

1988年に大学で工学の学位を取得。シェル PLC で要職を歴任するなど、石油・ガス業界で25年間勤務し、4大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サービス社（石油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の2社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する、故郷イバダン市の組織「ジェリコ・ビジネスマン・クラブ」のメンバーとなっている。

ローターアクターとして10年間活動し、1994年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12年度に地区ガバナー、2018-20年度にRI理事、2019-20年度に副会長を務めた。2017-23年度にEnd Polio Now：歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20年度副委員長）、2013年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016年～現在アドバイザー）での役職を歴任。

妻プレバさんと共にポート・ハーコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックス UK の評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI 超私の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。

国際ロータリー会長のご紹介とメッセージ

自分の最高を超えよう

ロータリーには、いつも予想外の一面があります。

向かいに座っていた見知らぬ人が、生涯の友になるなんて、本当に驚きです。ある地域で始まった小さなプロジェクトが、思いも寄らない形で広がっていくことにも驚かされます。そして、ロータリーによって最も大きく変わったのが、実はあなた自身だと気付いたとき、あなたはきっとさらに驚くことでしょう。

だからこそ今年度、私たちには自らの内なる変化を力に変え、未来を見据え、「持続可能なインパクトを生み出す」ことが求められています。

この言葉の意味を、ここで明確にしておきましょう。変化は始まりに過ぎません。真に重要なのは、長く続くインパクトです。私たちは、各プロジェクトの長期的なインパクトを考える必要があります。新しい水道システムは、地域住民の健康にどのように寄与するのか。住民は他の地域でも同様の仕組み作りを行えるのか。新しい教室は、この地域の教育向上のためのより大きな計画の中で、どのような役割を果たすのか。まさに、こうした視点が求められています。

また、インパクトを重視する上で、私たちの行動が平和構築にどう貢献するのも考えなければなりません。平和は偶然に訪れるものではなく、慎重かつ戦略的に築かれるものです。次のプロジェクトを計画する際には、こう自問してください。「これは、平和の土台づくりにどのように役立つか」。そして「積極的平和の8つの柱^{*}」を参考に、私たちの活動を通じて、世界を一步步つ平和へと近づけていきましょう。

地域社会や世界に変化をもたらすほど、あなた自身もまた変わっていきます。これまでのプロジェクトや集めた資金について伝えるだけでなく、ロータリーがあなたにどのようなインパクトを与えたのかを語ってください。そうした個人的なストーリーは新たな扉を開き、新会員の参加を促し、私たちがここにいる理由を改めて思い出させてくれます。

体験を自分の言葉で語ることは、新会員の勧誘やファンドレイジング（資金調達）にも非常に有効です。ポリオ根絶、平和の推進、そして持続可能なインパクトをもたらすためには、より多くの仲間とリソースが必要です。私たちはロータリー創立 125 周年を迎える 2030 年までに、ロータリアン 125 万人、ローターアクター 12 万 5,000 人以上という目標を掲げています。

クラブの会員と共に、ここ数年の成果を振り返ってみてください。そして、最も成果を上げた年度を見つけてください。それは、新会員数が最多だった年かもしれません。ファンドレイジングが過去最高額に達した年かもしれません。あるいは、今も地域で語り継がれるプロジェクトを実施した年かもしれません。その最高の年を見つけたら、次はそれを超えることに挑戦していただきたいのです。

こうした取り組みを通じて、私たちは世界中で、地域社会で、そして私たちの中で、「持続可能なインパクトを生み出す」ことができるでしょう。

皆さんに、心から感謝いたします。さあ、早速行動を始めましょう。

^{*} The Pillars of Positive Peace（積極的平和の8つの柱）：

国際的シンクタンク経済平和研究所（IEP）が提唱した、平和な社会を支える要素を示す考え方。平和で持続可能な社会を実現するための8つの要素から成る。

地区スローガン

初心の感動を忘れず、 地域と共に奉仕を実践しよう

ロータリークラブに入会して早 20 年。様々な事を学び、経験させていただきました。入会当初に感じたことは、素晴らしい先輩ロータリアンが沢山おられ、それぞれ職業人として立派に成功された方々でした。元々大館ロータリークラブは職業奉仕を重視する DNA があります。そして学んだことは、ロータリーの特徴は単なるボランティア団体ではなく会員一人一人が職業人として社会に貢献し、そして自らの仕事にも誇りを持ち発展させていくことを目指している団体であるという事でした。私たちは、奉仕活動を行うためだけではなく会員同士が切磋琢磨し合い自分自身や事業を成長させていくためのクラブだと感じました。

日本ロータリーの創始者の一人である米山梅吉翁は、ロータリークラブを人生の道場と呼びました。しかし最近では、事業がマンネリ化し、様々な会議が多すぎて、ロータリークラブに入っても、メリットを感じることが出来ず、退会をしてしまう人が居るのは残念な事です。けれども、ロータリークラブに所属しなければ、会員同士が職業人としての経験や考え方を学び合う場が無くなってしまいます。ロータリーは地域で事業や仕事をする人たちが、その知恵や経験を持ち寄りお互いに学び合うことでより良い奉仕活動を生み出し、そしてそれぞれの仕事にも新たなアイデアや刺激を得るための場なのです。単に食事をして話を聞く会ではありません。また、寄付をするだけのお金持ちの団体でもありません。私は、地区方針として、職業奉仕を中心としたロータリー活動を訴えていくつもりであります。そこで、2026-2027 年度のスロー

ガンとして「初心の感動を忘れず、地域と共に奉仕を実践しよう」という事を決めました。これは、入会時の動機や感動を忘れることなく、そして私たちの生活基盤である地域を大切に、未来へ繋いでいこうという思いです。この事は、オラインカ・ババロラ RI 会長のメッセージと共通するものがあると思います。実践しなければ成果は出ません。是非、一人ひとりが思いを一つにし、行動人として、共に実践して頂ければと思います。

私の年度の 2027 年 1 月 1 日に、地区の会員数が 1,100 人を割ると、地区の統合という事態になります。会員維持拡大は、第 2540 地区の最大の課題であります。一番大切なことは、入会した、会員一人一人がロータリーのメリットを感じてもらう事にあると思います。その最大の武器が「職業奉仕」であると思います。その為には、ロータリーで仕事に活かせる学びや人としての成長できる機会が得られるよう地区として、出来る限りの努力をしてまいりたいと考えております。

また、職業奉仕ばかりではなく、社会のために尽くす、社会奉仕や国際奉仕、青少年奉仕も地区として大切な事業であります。それぞれ目標を明確にし、行動しようと考えております。20 年前と比べ、新しい委員会が増えましたが、時代の要請で作られたものであり、きちんと対応しなければならないものと考えております。

まだまだ、ロータリアンとして未熟な私ですが、歴代ガバナーに負けないう努力するつもりであります。是非、地区内ロータリアンの皆様にもご支援ご協力のほどお願いいたします。

地区方針

1. 職業奉仕を重視した会員拡大を図ろう

ロータリーの職業奉仕の意味を理解し、役に立つロータリーを認識してもらい、会員拡大を図る。
地区合併阻止のため、年度を通じて1,100名の維持を達成する。
地区およびクラブで、会員増強維持の為の方策を共有する。

2. 例会の充実に、地区がもっと支援しよう

各クラブの例会に、地区役員の卓話等を積極的に呼びかけ、地区役員のノウハウを地区内で多いに利用してもらうことにより、各クラブの例会充実に寄与する。
ホームページやFacebookの充実に図り、情報ツールとして活用してもらう。

3. 公共イメージ向上の推進をしよう

ポリオ根絶キャンペーンについては、効果的な方法で実施する。
メディアやYouTubeなどにも投稿して、地区内外に広くロータリー活動をPRしよう。

4. 行動計画を策定し、クラブを成長させよう

RIは一昨年から行動計画推進リーダーの選任と行動計画の策定を推奨しております。
また、RLI参加者を増やすことは、クラブの活性化に繋がります。是非RLI参加者を増やし、クラブの成長に努力しましょう。

5. 青少年活動を積極的に支援しよう

コロナ禍により、インターアクトクラブとの繋がりが薄くなりました。再度積極的なアプローチで、ロータリーとの繋がりを強化しましょう。青少年交換プログラムは、国際ロータリーの看板事業です。大切に守りたいです。

6. ロータリー財団や米山記念奨学会の募金に協力しよう

寄付は、社会の潤滑油です。是非、ロータリー財団や米山奨学会の募金目標に達するようご協力をお願いします。

7. 変化を恐れずに努力しよう

組織は変化しなければ、やがて衰退します。ロータリーの精神はそのままに、若い会員の考え方やIT利用を推進し、変化のある、魅力あるロータリーに成長しよう。

ガバナー補佐 活動計画



花輪RC

吉田 孝司

入会 2014年7月
会長 2018-2019年度
幹事 2016-2017年度
2023-2024年度

北・大館鹿角グループ

2026-2027 地区方針、土館ガバナーのご指導の下、7クラブのパイプ役となるように、各クラブの現状や活動などを確認して、これからのクラブの成長と信頼につなげる。

北区各クラブの奉仕活動や例会等を把握、情報を共有することにより、「未来に残る結果」としてロータリーを発信し、会員減少に歯止めをかける為にも会員増強につなげるよう行動する。

- ・ガバナー公式訪問の準備及び、クラブ事前訪問
- ・クラブの課題、会員増強について
- ・地区行事へのPR 及び参加依頼
- ・北区 IM の運営



潟上RC

佐々木 松彦

入会 2014年10月
会長 2021-2022年度
幹事 2017-2018年度
地区幹事 2023-2024年度

北・能代男鹿グループ

1. 3月予定のIM終了後、現ガバナー補佐と面談引継ぎ
2. 7月に入り分区内8クラブ訪問
3. 7～9月に予定のガバナー公式訪問に同行
4. 12月予定のエレクト壮行会前後に分区内クラブ訪問
5. 来年3月前後に予定されるIMへの参加呼びかけのため、分区内クラブ訪問
6. 上記IM終了後、当該分区の2027～2028年度 ガバナー補佐と面談引継ぎ

ガバナー補佐 活動計画



秋田西RC

阿部 一之助

入会 2017年1月

会長 2021-2022年度

中央・秋田グループ

〔活動目標〕

土館ガバナーの掲げるテーマを担当クラブ会員に的確に伝える努力をします。

各クラブの例会出席率を上げるために、他クラブの取り組みを紹介し魅力あるものにします。

各クラブに呼びかけ、ロータリー財団、米山奨学金の募金目標に達するように努力します。

〔活動指針〕

土館ガバナーの地区活動方針を理解し、早々に秋田市内7RCへアンケート調査を実施したいと考えています。

内容的には、

- 1) 現在の会員数の確認と会員増強維持のための方針について
- 2) 例会の充実、出席率向上のための取り組みについて
- 3) コロナ禍により繋がりが薄くなりましたが、青少年活動（インターアクトクラブ）と各RCの現状、今後の取り組みについて
- 4) ロータリー財団への寄付金額について
- 5) クラブで実施している奉仕活動の現状、継続における問題点について

アンケート調査の結果を踏まえ、担当各クラブを訪問し、成功例を紹介し、悩んでいることがあれば、その問題点をガバナーに伝え、ガバナー公式訪問の際に改善に向け努力致します。

ガバナー補佐 活動計画



本荘RC

堀 茂

入会 2000年3月
会長 2016-2017年度
幹事 2007-2008年度
2019-2020年度

中央・本荘にかほグループ

1. ガバナー方針・地区目標を理解し、各クラブに伝える。
2. ガバナー公式訪問2週間前に各クラブを訪問する。
3. ガバナー公式訪問に同行する。
4. 本荘にかほグループの会長・幹事会に出席して、各クラブの課題、要望等を聞き取りしガバナーへ報告する。



大曲仙北RC

泉谷 昭一

入会 2013年8月
会長 2022-2023年度
2025-2026年度
幹事 2018-2019年度
2021-2022年度

南・大曲仙北グループ

【活動方針】

- ・ガバナーの地区活動方針を理解した上で各クラブに伝え、各クラブの運営が円滑に進むようサポートする

【活動計画】

- ・ガバナー公式訪問前に事前訪問し、各クラブ会長・幹事と主に以下の点について確認する
 - ▶ クラブ目標（活性化、行動計画 など）
 - ▶ クラブ現状と問題点（特に、会員増強、寄付金、奉仕活動について）
 - ▶ 地域に対する要望
- 以上をガバナーに報告し、ガバナーが交流しやすくなるようサポートする
- ・担当クラブのガバナー公式訪問の際に同行する
- ・大曲仙北グループのクラブ会長・幹事会に出席して意見交換する。
- ・南区IMの実施、及び様々な地区行事への参加を促す。
- ・ガバナーの地区スローガン「初心の感動を忘れず、地域と共に奉仕を实践しよう」であることから、各クラブには地域社会への奉仕に全力で取り組んでいただきたい。

ガバナー補佐 活動計画



横手東RC

中川 義徳

入会 2008年3月
会長 2015-2016年度
2023-2024年度
幹事 2011-2012年度
2020-2021年度

南・横手グループ

【活動目標】

1. ガバナー方針の浸透と連動の強化
土館ガバナーの活動方針および年間目標を各クラブへ正確に周知し、深い理解に基づく主体的な協力を引き出せるよう尽力いたします。
2. グループ内連携による魅力あるクラブ運営の支援
横手グループ3クラブの活動計画を把握し、各クラブの好事例（ベストプラクティス）を積極的に共有・相互提案します。実際に例会へ足を運ぶことで、会員が「参加したい」と思える魅力的な企画を促し、出席率の向上とクラブの活性化をサポートします。

【活動指針】

1. 円滑なガバナー公式訪問の準備と調整
事前訪問を徹底し、日程調整や資料準備において細やかなサポートを行うことで、公式訪問の効果を最大化させます。
2. デジタル・ラーニングの推進
「My ROTARY」内のラーニングセンターを自ら積極的に活用し、最新の知識を研鑽するとともに、各クラブへもIT活用の利便性を伝えます。
3. 新体制における対話と交流の深化
横手グループ（3クラブ）に新しく編成された事を機に、各クラブへの訪問頻度を高めます。現場の声に耳を傾け、より密接なコミュニケーションを通じてグループ内の結束力を高めます。

ガバナー補佐 活動計画



西馬音内RC

柴田 知之

入会 2016年6月

会長 2025-2026年度

南・湯沢羽後グループ

【基本方針】

南区内の「つながり」と「活性化」を軸に、各クラブの自主性を尊重しながら、土館ガバナーが掲げる方針の浸透と実践を行う。

【重点テーマ】

1. 会員増強と定着
2. クラブ活性化
3. クラブ間協同の推進

【目標】

1. 各クラブ純増1名
2. 各クラブ会長幹事との定期面談
3. クラブ単独事業から合同事業へ発展

楽しいクラブ活動を推進し、良い仕事での社会に還元を通して地域貢献に努めます。

委員会活動計画

ロータリーの友委員会

委員長 大館 RC 佐藤 志津子

1. 広く機会を捉え、地区内会員に向けて「ロータリーの友」誌および各種出版物の広報と活用促進を推進するとともに、地区内の活動情報の収集に積極的に取り組みます。
2. 「ロータリーの友」への理解を深めていただくため、各クラブの広報委員長等に、例会内での紹介を行っていただくよう推奨します。あわせて、毎月の月間活動テーマに沿い、関係するクラブ委員長が例会時にスピーチを行っていただくよう推奨します。
3. 「ガバナー月信」などを通じて、「ロータリーの友」に関する情報を地区内に発信するよう努めます。
4. 「ロータリーの友」に掲載されている全国の活動事例をクラブに取り入れ、活動の幅を広げながら会員拡大の推進等に繋げていただけるようお願いしていきます。
5. ロータリーの友委員会 OB を含め「友友会」を開催し、活動がより豊かになるような意見交換の場をつくっていきます。

R L I 委員会

委員長 秋田 RC 桑原 透

【活動計画】

当地区の RLI ラーニング・セミナーは 2022-2023 年度の地区単独開催から丸 4 年を経過し、延べ 150 名を超える地区内ロータリアンが受講しました。各クラブには、全会員の受講と RLI をクラブの会員研修事業として採用してもらいたい旨の説明を行なっています。

当委員会もこれまでに様々なノウハウを蓄積してきましたし、委員以外にもファシリテーターを務めてくれる皆さんを募りながら安定感ある進行役を果たしています。

RLI ラーニング・セミナーを受講すれば、ロータリーの知見が広がり、他クラブ会員と交流でき、所属するクラブが「強く楽しいクラブづくり」実現への更なる歩みを進められます。

5 年目となる今年度も、PART I、II、III を各 1 回開催して受講者を募ります。

各 PART 開催前にファシリテーター養成研修を行ない、当日のスムーズな進行に努めます。

委員会活動計画

会員拡大増強委員会

委員長 大館北 RC 藤盛 公之

第 2540 地区会員概要（2025 年 7 月 1 日現在）から

・ 会員数	1,147 名	日本：81,283 名
・ クラブ数	41	2,182
・ 女性割合	8.18%	8.6%
・ ローターアクト会員数	5 名	2,737 名
・ ローターアクトクラブ	1	291

R I から第 2540 地区は 1,200 名の維持を指示されている。

維持できない場合は、他地区との統合を言い渡されると聞いている。

第 2540 地区としては、秋田県単独地区維持を目指すという前提の活動計画である。

さて秋田県の現状は、深刻な少子高齢化により人口動態は自然減社会減が全国ワースト。それを鑑み、ロータリークラブばかりではなく各種団体でも会員拡大には苦慮している状況である。また東京商工リサーチの統計から日本の中小企業における代表取締役社長の平均年齢は 63.6 歳。それに対し秋田県は平均 66.1 歳と全国で最も高齢化が進んでいる。

このことから、第 2540 地区各 R C 会員の平均年齢も上がってきているものと想定される。

そこで先ず地域の実情に合った活動計画を考えてみた。

- ①若手が参加しやすいように、年会費・参加義務を緩和した準会員制度の検討
- ②既存会員と地域の有力者（首長・会頭・会長等）を巻き込んだ人脈紹介例会
- ③3ヶ月間の無料体験会員制度

先ずはこの、3つの施策を重点とした活動計画を立案した。

いずれ、各クラブの魅力を向上させる施策は、各々のクラブがもつ強みを活かした行動計画を立案するべきである。

しかし、若手経営者をターゲットにした取り組みが必要なのは、地区全 R C の共通課題である。

委員会活動計画

公共イメージ委員会

委員長 秋田 RC 岡本 啓一

2026-2027 年度地区公共イメージ委員会の活動の目標は、各クラブの会員、またロータリーの外の人びとにロータリーに対し抱くイメージを向上させることです。それには地区の活動、各クラブの活動を様々な機会を利用し、情報発信を推進したいと考えております。地区内各委員会との連携を図りその活動、各クラブの活動をお知らせいただき、可能な限り地区ホームページ、LINE などに掲載したいと考えております。それにより各クラブがアイデアを発展させ、活動を向上していけると考えております。

昨年度施策としてポリオデーイベントとして秋田駅西口でパレードを実施しました。県警音楽隊の参加協力もいただき、ロータリー内部では一定の評価を賜りましたが、マスコミによる取材も残念ながら得ることができませんでした。ポリオ根絶キャンペーンは内容を再検討し実施したいと考えております。

【目標】

1. ロータリー月間に基づき公共イメージアップ
2. 地元媒体、IT を活用し、会員意識の向上、外の人々のロータリー認知の向上
3. ポリオ根絶キャンペーンの主催

職業奉仕委員会

委員長 大館 RC 山田 和人

ロータリーの目的（旧「ロータリーの綱領」）には、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。」そして、その第2に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。」とあります。ロータリークラブが他団体と一線を画するのは、その目的に自らの職業への高い倫理基準を謳いあげているところだと思います。

ところで、ここでいう奉仕という言葉の意味が広く理解され、それが原因となって職業奉仕の意味が曖昧になり、理解しづらい概念になってしまっているのではないのでしょうか？

今一度職業奉仕の理念の成り立ちをロータリーの設立当時に立ち返って、つかみ直す機会を設けたいと思います。

また、地区の各研修や会議の場を活用し、他地区での職業奉仕活動の実践例等を地区会員の皆様と共有する場を増やしていきたいと思います。

そして、冒頭にお示したロータリーの根幹をなす職業奉仕の理念を一人でも多くの会員が実装できるようにし、「ロータリーって何？」と聞かれたとき「職業奉仕の団体」と、誇りをもって答えられる会員を増強することが、ひいては会員拡大への一助になるのではないのでしょうか？会員拡大と職業奉仕の連携等を模索してみたいと思います。

委員会活動計画

社会奉仕委員会

委員長 能代 RC 塚本 真一

【委員会方針】

クラブは地域のニーズに合わせて長年にわたり多様な社会奉仕活動を行っておりますが、時代と共にロータリーへの要請が変化していることもまた事実です。

今年度はガバナー方針に基づき次の3つを活動の方針とします。

1. 各クラブの社会奉仕活動の参考となる事例を地区大会等で紹介する。さらにクラブには地域における独自の広報活動のほか、地区ガバナー事務所への情報提供を推奨し地区内での情報の共有を図る。
2. ガバナーのご職業にも通ずるフードロスを防ぐべく、各クラブにはロータリーを超えて連携できる当該事業に協力することを推奨する。
3. 減塩運動

国際奉仕委員会

委員長 秋田中央 RC 阿部 大助

【委員会の目的】

国際間の理解、親善、平和を推進すること

【委員会の目標】

1. クラブの国際奉仕活動への参加を奨励する。
2. 新しい国際奉仕活動について検討する。

【活動内容】

1. ロータリー財団委員会と連携しグローバル補助金を活用するクラブの支援をする。
2. 2520 地区と連携し、ICC 締結したウクライナ 2232 地区への支援を検討する。
3. 必要に応じてウクライナ 2232 地区からの要請に対応する。
4. ロータリー平和センターの活動を紹介する。

委員会活動計画

危機管理委員会

委員長 大館 RC 緑川 正樹

1. ロータリーの活動の中で起こりうる危機管理を行い、発生後は速やかに R I に報告する。
2. ロータリーにおける危機管理について、ロータリー章典等に基づいて整理し、その内容を当地区内各クラブ及びロータリアンに周知するよう努める。
3. 当地区の危機管理総則及び危機管理委員会規定の内容を当地区内各クラブ及びロータリアンに周知するよう努める。

インタラクティブ委員会

委員長 横手 RC 黒丸 雄平

各インタラクティブクラブが各地域において学校や地域社会のための活動と国際理解を目指す活動を行えるよう提唱クラブと共にその活動を支援する。

インタラクティブ年次大会を開催し、インタラクティブがロータリーの一員であることの理解を深めるとともに地区内インタラクティブととの交流を行う。また、宮城県で行われる予定の全国大会へ参加し、地区外との交流の可能性を実感する機会とする。

インタラクティブが R I のロータリー章典に規定された青少年保護の指針に沿って安全に活動できるよう、インタラクティブクラブ役員、インタラクティブクラブ委員長、顧問ロータリアン、顧問教諭と共に指導者講習会を開催する。

国際理解を深めるための取り組みについて、各クラブ・提唱クラブと話し合い現状の理解と今後の方針を確認する。

- ・ 2026 年 7 月 年次大会準備
- ・ 2026 年 7 月 10 日（金）
ウクライナ交換留学生との交流会＜R I D 2 5 2 0 との関連事業（9～11日）＞
- ・ 2026 年 8 月 22 日（土）（予定） 年次大会・指導者講習会開催
- ・ 2026 年 11 月 地区大会参加（活動発表など）
- ・ 2026 年 12 月 委員会（各表彰の確定、表彰準備）
- ・ 2027 年 3 月 本年度・次年度合同委員会 I（学校予定関連確認・引継ぎ）
- ・ 2027 年 5 月 地区内インタラクティブクラブ代表者会議・指導者講習会
本年度・次年度合同委員会 II（最終引継ぎ）
- ・ 2027 年 4～5 月予定 第 14 回インタラクティブ全国大会参加（宮城）

委員会活動計画

青少年奉仕委員会

委員長 秋田 RC 佐野 元彦

1. ローターアクトの活性化と会員拡大の支援
 - ・「熊プロジェクト」の推進に協力する
 - ・RYLAの運営に協力してもらう
 - ・ロータリー研修の場を提供する（RLI）
 - ・ロータリアンとの交流機会をつくる（例会・地区大会・RYLA・ENDPOLIOイベント）
 - ・他地区ローターアクトとの交流の機会を提供する（第39回全国RA大会@前橋市）
2. 第2回RYLAの開催
 - ・インターアクト年次大会に併せて、半日のRYLAを開催する
 - ・ロータリーファミリー（インターアクト、ローターアクト、米山奨学生、青少年交換留学生）に加えて一般参加を広く募る
3. 青少年の保護安全に関する情報の各クラブへの周知
 - ・危機管理委員会と協力し、重要情報や変更情報を広報する
4. 青少年奉仕の意義の地区内への浸透
 - ・ロータリーが提唱する「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年によって好ましい変化がもたらされる」という青少年奉仕の意義を地区内に伝え、青少年奉仕が未来志向の重要な奉仕活動であることへの理解を深めていく

青少年交換プログラム委員会

委員長 大館 RC 八木橋 秀一

2026-27年度の派遣学生はおりませんので、2027-28年度（27年夏出発）の長期派遣学生の募集を7月から行っていく予定です。

東北多地区で毎年スプリングキャンプを実施しています。本年は岩手、2027年は青森、2028年は当地区での開催が予定されております。次々年度に向けた準備も行っていきます。

この他に全国青少年交換委員長会議、全国青少年交換研究会への参加を検討していきます。

青少年交換プログラムは派遣生の募集から帰国まで2年を要し、その後もROTEXとして人材を育てていく息の長いプログラムです。ロータリアンの皆様のご協力なくしては継続して実施することが難しい事業です。どうかご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

委員会活動計画

地区成長戦略計画委員会

委員長 秋田北 RC 嶋田 康子

【活動計画】

3年前当地区においては、RIの定めた最低人数1,100名を切り他地区との合併も計画しなくてはならない状況にありましたが、ガバナー事務所や会員拡大増強委員会等の努力によりとりあえずは最低人数を確保しております。

しかしながらまだまだ厳しい状況が続いているため、当地区の目標である1,200名をめざし、ガバナー事務所等と協力し今後も増強活動を続けます。

又、昨年度からRIの求める地区行動計画推進リーダー及び各クラブにも一人ずつの推進リーダーを決めていただきました。

この最大の目的は3-Year Rollig Goals・要するに3年間の目標を各クラブに設定するように推奨していくことであり、地区としてもしっかりと3年の成長戦略をたてる必要があります。現在、クラブにおいて3年後までの目標を立てているのは13クラブ（今年度の目標を立てているのは31クラブ）ですが、それをもう少し増やすように働きかけ、地区としても地区目標に生かせるように努めていきたいと思えます。

何よりも、様々なこと・特に寄付金などで遅れていると言われる当地区を地区としての平均値まで高めなくてはならないと思えます。

これは、ガバナー・エレクト・ノミニー（早目の選出が必要）が考える方針に合わせてこの委員会でその手助けができるようにしていくことと思っています。又、今年度の計画を来年度以降に軌道修正しながらよりよい方向づけをするための議論を行っていきたいと考えております。

その他、来年度においてもロータリー財団委員会や会員拡大増強委員会など各委員長を招き、意見を聞きながらお互いの勉強会を行う機会を作りたいと思っております。

委員会活動計画

地区大会委員会

委員長 大館 RC 小松 和志

2026 年 11 月 7 日（土）8 日（日）に大館市内プラザ杉の子及びほくしか鹿鳴ホール（大館市文化会館）の 2 会場を開催場所として地区大会を開催いたします。

この大会を通じて会員同士の交流がより深まり、ロータリアンとして、RI 第 2540 地区会員として今後の活動の一助になれば幸いです。

皆様が楽しく有意義に大館大会を過ごされる事が出来ます様にメンバー、地区会員、関係各所と共に努めて参ります。

ロータリー財団委員会

委員長 秋田東 RC 平澤 孝夫

1. ロータリー財団の重要性を地区会員にご理解いただくよう努めます。
2. 各小委員会に各々の役割を理解していただくため委員会全体で勉強会を開き、一体感を持って地区財団資金運営を行います。
3. 例年年度末に大変苦勞するゼロクラブについて、本年度はガバナーとご相談し、年度当初 2 ヶ月以内に各クラブ、クラブ名か、会長名でまず 150 ドルを寄付していただくことを徹底していただくようお願いしてまいります。
4. 会員お一人 150 ドルの寄付とメジャードナー、ポールハリスソサエティのお願いをしてまいります。

委員会活動計画

ロータリー米山記念奨学委員会

委員長 秋田西 RC 清水 俊明

【委員会の目的】

ロータリー米山記念奨学事業を通し、国際交流と相互理解を深める。

【委員会の目標】

- ①普通寄付ゼロクラブをなくすとともに、特別寄付の増進を図る。
普通寄付、特別寄付合わせて一人当たり 14,000 円以上の寄付を推進する。
- ②米山記念奨学事業に対するロータリアンの理解者を増やす。
- ③奨学生との交流を深め、学友の動向を把握する。

【活動内容】

1. 奨学生の“ロータリー”に対する理解を深める
 - ①秋田をより深く知っていただき、学生にとって「第2のふるさと」になるよう努める。
 - ②奨学生とロータリアンとの交流をよりいっそう深める。
 - ③世話クラブ以外における奨学生の卓話を促進し、学生が様々なクラブに接することで多くのロータリアンと交流を持つ機会を拡げる。
 - ④参加義務のある地区行事だけでなく、その他の行事への積極的な参加を促す。
2. 奨学生との交流を深め学友の動向を把握する
 - ①奨学期間が終了しても交流が続くよう、世話クラブ・カウンセラーの役割をより一層意識していただき、奨学生に対し精神面でもサポートしていただく。
 - ②地区内在住学友の所在等を把握し、交流を図るとともに、地区外学友に現地学友会への参加を推奨する。
 - ③奨学期間終了後も、学友会への参加を促進する。
 - ④ホームカミング制度等を活用し、地区外に居住している学友と交流を図る。
3. カウンセラー研修会の実施に取り組み、当地区の米山奨学事業の基盤を強化する。
 - ①カウンセラーは奨学生支援の要。理解度と関与を深め、米山奨学事業の質を充実させる。
 - ②体系的な研修の場を設けることで、役割理解の統一、奨学生との関係構築の質向上、問題発生時の早期対応力の強化をする。

【スケジュール】

- 2026 年 12 月 5 日（土）米山記念奨学生面接
2027 年 3 月 6 日（土）米山記念奨学生終了式歓送会
2027 年 4 月 24 日（土）奨学生・カウンセラーオリエンテーション

委員会活動計画

RI 国際大会推進委員会

委員長 大館 RC 都 仁洙

2年前、国際大会の予定は、ハワイでした。

しかし国際大会会場の新築工事が遅れ、間に合わないので、昨年、ドバイに変更になりました。

ところが今年の3月にアメリカのイラン攻撃が始まり、いつ終わるか分からない為、危険ということで、急遽バルセロナ（スペイン）が2027年ロータリー国際大会の開催地として新たに選ばれ、2027年6月26日～30日にフィラ・デ・バルセロナで開催されることが決まりました。登録受付は、9月頃から予定されています。

また、当初2027年国際大会の開催が予定されていたドバイでは、将来、国際大会が開催されることになるでしょう。

また、例年行われている地区ナイトは、ドバイ同様、日本人合同で地区ナイトを開催することになりました。これは、国際大会での日本人朝食会が、場所の確保や予算の面で、年々難しくなり、それならば、日本人合同地区ナイトという事になりました。2540地区も、合同ナイトに参加という事で申し込んでおります。

有名なサクラダファミリアがロータリアンを、お待ちしております。今から貯金を始めて、2027年6月に、バルセロナでお会いしましょう。

地区主要行事・予定表

行事名	会場及び開催日	HC	出席対象者 (地区役員を除く)		参考予定
ラーニング・ ファシリテーター 会議			今年度は会議予定なし		
地区チーム・ ラーニング セミナー (DTLS)	大館市 北秋くらぶ	HC 大館	2025-26 ガバナー補佐 2025-26 地区委員長・地区役員含 2026-27 ガバナー補佐 2026-27 地区委員長 財務委員長・会計長・HC 会長・幹事		12時～12時45分 国際協議会報告会 (昼食)
	2026 年 2月21日(土)	Co-HC 花輪 十和田秋田			13時～16時 セミナー 懇親会
会長エレクト・ ラーニングセミナー (PELS)	大館市 プラザ杉の子	HC 大館	地区	2026-27 ガバナー補佐 2026-27 地区委員長	13時～セミナー 17時 懇親会
	2026 年 4月18日(土)	Co-HC 大館中央 鷹巣	クラブ	2026-27 会長・幹事	
クラブ・リーダーシップ・ ラーニングセミナー (CLLS)	大館市 プラザ杉の子	HC 大館	地区	2026-27 ガバナー補佐 2026-27 地区委員長・委員	10時30分 研修・協議会 懇親会有り
	2026 年 5月23日(土)	Co-HC 大館北 大館南	クラブ	2026-27 会長・幹事 委員長・委員 新会員	
クラブ活性化 セミナー	大館市 プラザ杉の子	HC 大館	地区	2026-27 ガバナー補佐 (関係する)地区委員長・委員	13時30分～ セミナー 16時45分～ 懇親会
	2026 年 7月4日(土)	Co-HC 花輪 十和田秋田	クラブ	2026-27 会長・幹事 委員長・委員 新会員	
ポリオデー	大館市 ニプロハチ公ドーム (大館きりたんぽまつりと同時開催)	実行 委員会	地区	2026-27 公共イメージ委員会	ポリオ募金実施は 10日(土) 10時～12時
	2026 年 10月10日(土)・11日(日)	HC 大館市内 4RC		全 員	ブース展示 10日・11日両日
地区大会 (大館市)	大館市 研修・晩餐会:プラザ杉の子 2026 年 11月7日(土)	HC 大館 Co-HC 花輪 鷹巣	全 員		懇親会有り
	本会議:ほくしか鹿鳴ホール 懇親会:プラザ杉の子 2026 年 11月8日(日)	大館北 十和田秋田 大館南 大館中央			
ガバナーエレクト 壮行会	大館市	HC 大館	地区	2026-27 ガバナー補佐	懇親会有り (※壮行会当日財団 セミナー開催予定)
	プラザ杉の子	Co-HC	クラブ	2027-28 ガバナー補佐 2027-28 地区委員長	
	2026 年 12月6日(日)	大館中央 鷹巣		2027-28 会長・幹事	

地区組織図

ガバナー

土館

守（大館）

北・大館鹿角グループ

ガバナー補佐
吉田 孝司（花輪）

グループ内7RC

北・能代男鹿グループ

ガバナー補佐
佐々木松彦（湯上）

グループ内8RC

中央・秋田グループ

ガバナー補佐
阿部 一之助（秋田西）

グループ内7RC
+1RSC+1RAC

中央・本荘にかほグループ

ガバナー補佐
堀 茂（本荘）

グループ内5RC

南・大曲仙北グループ

ガバナー補佐
泉谷 昭一（大曲仙北）

グループ内6RC

南・横手グループ

ガバナー補佐
中川 義徳（横手東）

グループ内3RC

南・湯沢羽後グループ

ガバナー補佐
柴田 知之（西馬音内）

グループ内4RC

副ガバナー

工藤 智敏（大館南）

地区諮問委員会（指名委員会）

京野 学（湯沢南） 柳谷 悦慶（能代）
松浦 新（秋田中央） 富樫 龍紀（大曲中央）
伊藤藤々雄（湯沢） 嶋田 康子（秋田北）
村上 勘一（象潟） 工藤 智敏（大館南）
地葉 新司（湯上） 宮原 保夫（湯沢南）
塩谷國太郎（大曲） 高崎 恒夫（秋田港）
玉木 修（秋田西） 淡路 徹（湯上）
宮下 正弘（秋田） 佐藤 和志（田沢湖）
平澤 孝夫（秋田東） 桑山 明久（本荘）
※指名委員会 委員長 桑山 明久（本荘）

規定審議会委員会（任期 2026.1～2028.5）

代表議員 嶋田 康子（秋田北）
補欠議員 高崎 恒夫（秋田港）

ガバナーエレクト

岩佐 信宏（横手）

ガバナーノミニ

岡本 啓一（秋田）

地区幹事

布袋豊 寛（大館）

地区副幹事

石川 博司（大館）
菅原 訪順（大館） 戸嶋 一之（大館）
佐谷 博久（大館北） 乳井 仁（大館南）
丸山 佳孝（大館中央） 菅原 史明（花輪）
黒澤 芳彦（鷹巣） 猪狩 博美（十和田秋田）

地区会計長

◎ 中川 義明（大館）

事務局員

大館RC事務局 大館北RC事務局 大館南RC事務局

地区財務委員会

◎ 福原 良英（大館） 〇 近江 直人（横手）
佐藤 良一（本荘）

<地区監査委員会>

北 税理士 綿貫 一子（能代）
中 税理士 小林 科樹（秋田中央）
南 税理士 剣田 一之（横手）

<ロータリーの友委員会>

◎ 佐藤志津子（大館） 齊藤浩太郎（本荘）
松尾 秀正（大館北）
ロータリーの友委員会地区代表委員・・・佐藤志津子

<RLI委員会>

◎ 桑原 遼（秋田） 〇 加賀 美奈（大曲中央）
阿部 大助（秋田中央） 細谷 太朗（秋田中央）
山本 隆弘（秋田港） 安達 豪樹（秋田南）
村上 亜紀（秋田東） 田口 宗弘（角館）
北嶋 洋一（秋田南） 藤井 健（横手）
宮原 育郎（湯沢南） 須田 幸喜（本荘）
伊藤 幸雄（本荘） 児玉 高久（山本）
佐々木 徹（湯上） 鈴木 隆宏（能代）
小田嶋伸一（花輪） 坂本 寿克（大館南）
金子 信（能代白神）

（財）ロータリー－米山記念奨学会 ※ロータリー－米山奨学会より任命です。
<専門委員> PDG 平澤 孝夫（秋田東）（任期 2025年9月～2026年8月）
（財）ロータリー－米山記念奨学会 第2540地区 ※第2540地区より任命です。
<理事> PDG 玉木 修（秋田西）（任期 2024年9月～2026年8月）
<理事> PDG 宮下 正弘（秋田）（任期 2026年9月～2028年8月）
<評議員> PDG 柳谷 悦慶（能代）（任期 2023年9月～2027年8月）

社会法人 RIJYEM 第2540地区

<社員> PDG 宮下 正弘（秋田）（任期 2024年8月～2026年8月）
PDG 宮下 正弘（秋田）（任期 2026年8月～2028年8月）

<地区研修委員会>

◎ PG 桑山 明久（本荘） 〇 PG 佐藤 和志（田沢湖）
PG 淡路 徹（湯上） PG 高崎 恒夫（秋田港）
PG 工藤 智敏（大館南）

<会員拡大増強委員会>

◎ 藤盛 公之（大館北） 〇 武藤 幸美（大館）
佐々木 健（秋田西） 熊谷 清敏（湯上）
田口 憲寿（大曲仙北） 柴田 晋（西馬音内）
細谷 昇（横手東）

<公共イメージ委員会>

◎ 岡本 啓一（秋田） 〇 佐藤 力（大曲）
鈴木 隆宏（能代） 村越 正道（能代）
飯塚 雅子（本荘） 八木橋秀一（大館）
西村 政幸（大館中央）

<職業事任委員会>

◎ 山田 和人（大館） 〇 境 一孝（二ツ井）
今野 真保（象潟） 三浦 大英（角館）
小玉 久則（秋田港） 巖山 盛二（鷹巣）

<社会事任委員会>

◎ 塚本 真一（能代） 佐藤 繁夫（稲川）
佐渡 信子（男鹿） 工藤 飛鳥（秋田西）
藤嶋 文人（大曲） 成田 哲男（十和田秋田）

<国際事任委員会>

◎ 阿部 大助（秋田中央） 〇 熊谷 中（象潟）
須田 華奈（秋田南） 加茂谷博文（秋田東）
中村 博美（大館南） 太田 一弘（横手南）
信田 智彦（湯上）

<危機管理委員会>

◎ 緑川 正樹（大館） 〇 桑山 明久（本荘）
宮下 正弘（秋田） 黒丸 雄平（横手）
佐野 元彦（秋田） 八木橋秀一（大館）
清水 俊明（秋田西） RI報告担当者 緑川 正樹（大館）

<インターアクト委員会>

◎ 黒丸 雄平（横手） 〇 井井 仁（大館南）
須田 幸喜（本荘） 八木下真金（五城目）
進藤 文仁（秋田） 佐藤 純也（大曲）

<青少年事任委員会> ※ローター・アクト推進 佐野元彦

◎ 佐野 元彦（秋田） 〇 佐藤 雅之（秋田）
土田 ゆき（秋田） 清水 俊明（秋田西）
黒丸 雄平（横手） 八木橋秀一（大館）

<青少年交換プログラム委員会>

◎ 八木橋秀一（大館） 〇 金子 雄司（秋田東）
村上 亜紀（秋田東） 石川 博司（大館）
須田 幸喜（本荘） 田口 裕也（秋田北）
高橋 隆太（湯沢） 佐藤 正行（大曲）
岩佐 信宏（横手）

<地区成長戦略計画委員会>

◎ 嶋田 康子（秋田北） 〇 平澤 孝夫（秋田東）
工藤 智敏（大館南） 村越 正道（能代）
淡路 徹（湯上） 伊勢 昌弘（秋田）
桑山 明久（本荘） 富樫 龍紀（大曲中央）
岩佐 信宏（横手） 渡部 栄太（横手）
佐藤 祥一（稲川） 武藤 幸美（大館）

<地区行動計画推進リーダー>

◎ 嶋田 康子（秋田北）
各クラブ行動計画推進リーダー

<地区大会委員会>

◎ 小松 和志（大館） 〇 根田 朋武（大館南）
◎ 明間 英資（大館） 〇 田山 洋平（大館）
〇 小島 茂（大館） 〇 安田 清生（大館）
佐谷 博久（大館北） 横井 弘明（大館南）
菅原 新一（大館中央）

<ロータリー財団委員会>

◎ 平澤 孝夫（秋田東） 〇 渡部 羊三（秋田東）
（補助金委員会） 〇 橋本 里花（秋田西）
◎ 渡部 羊三（秋田東）
松田 圭司（湯沢）
（資金推進委員会／ロータリーカード推進）
◎ 荻桑 賢雄（横手南）
（ロータリー平和フellowシップ委員会） ◎ 中村 博美（大館南）
（ボリオプラス委員会） ◎ 渡部 栄太（横手）
（資金管理委員会） ◎ 佐藤 文人（大館）
伊藤 幸雄（大館）
（地区恒久基金／大口寄付委員会） ◎ 菅原 訪順（本荘）
ボール・ハリスン・サティ コーディネーター 平澤 孝夫（秋田東）

<ロータリー－米山記念奨学会委員会>

◎ 清水 俊明（秋田西） 〇 境田 未希（秋田東）
若林 幸夫（横手） 土崎 俊成（秋田港）
伊藤 里花（秋田） 伊藤 有希（本荘）

<RI 国際大会推進委員会>

◎ 都 仁淡（大館） 中田 魁（秋田）
三浦 将人（湯上） 丸藤 孝雄（大曲）
◎＝委員長 〇＝副委員長

青少年交換プログラム 報告

2025-26 年度 第 2540 地区青少年交換プログラム派遣生

鎌田 乃歌（秋田北 RC）

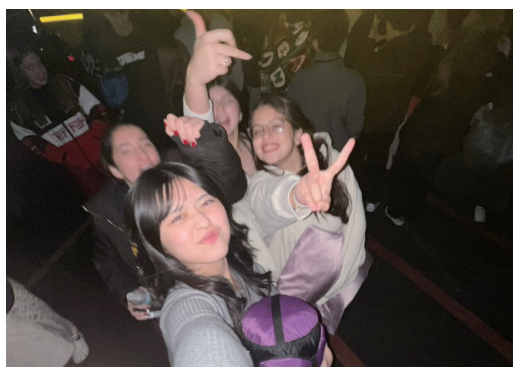
この1年間、私はネブラスカ州の高校に2年生として通い、演劇部に所属しました。アメリカの授業は日本とは大きく異なり、特に歴史の授業では、日本で学んだ出来事をアメリカの視点から改めて学ぶことができました。授業で自分の意見を積極的に発言する機会が多く、多様な価値観に毎日触れることで視野が大きく広がりました。

1月にはタルサで開催された南中央地区の交換留学生冬の会議に参加し、全米から集まった留学生たちと強い友情を築きました。また4月には、オマハのロータリークラブ主催の昼食会で約1,400人の前で留学経験についてスピーチをする機会にも恵まれました。

一方で、到着直後は学校側の準備不足により約3週間登校できず、ホストファミリーとの関係作りやホームシックに苦しむ時期もありました。家族のことを思うと涙が止まらない日もありました。しかしそんな困難を乗り越える中で、周囲の人々の支えを実感し、少しずつ自立した人間へと成長することができました。

将来は大学で国際問題を学び、もっと多くの日本人が自信を持って海外に挑戦できる社会づくりに貢献したいと考えています。

このかけがえのない経験は、ロータリークラブの皆様のご支援と温かい励ましのおかげで実現しました。心から感謝申し上げます。



新会員紹介

大曲ロータリークラブ



さいとう たくや
齋藤 卓也 会員
(4月1日 入会)

紹介者：武藤 淳子
勤務先：(有)さいとう清掃
役職：代表取締役

大曲ロータリークラブ



さいとう よしのり
佐藤 芳紀 会員
(4月1日 入会)

紹介者：新山 良洋
勤務先：さとう塗装工業
役職：代表

大曲ロータリークラブ



こんの とおる
今野 徹 会員
(7月1日 入会)

紹介者：武藤 淳子
勤務先：(株)今野農機商会
役職：代表取締役

大曲南ロータリークラブ



おおつか すすむ
大塚 晋 会員
(7月1日 入会)

紹介者：谷口 勉
勤務先：(株)ユアテック大曲営業所
役職：所長
職業分類：電気工事
ひとこと：地域インフラを支える企業の
一員として、ロータリー活動
を通じて地域社会への貢献を
深めてまいります

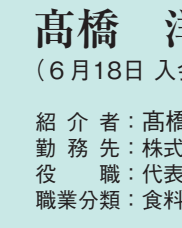
湯沢ロータリークラブ



わかさ せいいちろう
若狭 誠一郎 会員
(6月16日 入会)

紹介者：吉村 和幸
勤務先：合同会社 わかさ菓子店
役職：代表社員
職業分類：菓子製造業

湯沢ロータリークラブ



たかはし ようこう
高橋 洋行 会員
(6月18日 入会)

紹介者：高橋 伴仁
勤務先：株式会社 寛文五年堂
役職：代表取締役専務
職業分類：食料品製造販売 (稲庭うどん・稲庭そうめん)

物故会員

花輪ロータリークラブ



あさいし とし あき
浅石 敏明 会員

逝去年月日：2026年6月16日

享年：72歳

入会年月日：2012年1月1日

心よりお悔やみ
申し上げます



2026年5月会員数の増減

グループ		クラブ名	会員数				増減
			2025 年 7月1日(A)	2026 年 5 月末 (B)	うち 女性	うち 40 歳未満	増減数 (B)-(A)
北	大館鹿角	大 館	35	39			4
		花 輪	20	20	1	0	0
		鷹 巣	7	5	1	0	-2
		大 館 北	14	13	2	1	-1
		十和田秋田	27	25	1	0	-2
		大 館 南	31	32	0	2	1
		大 館 中 央	15	14	1	0	-1
	能代男鹿	能 代	47	52			5
		男 鹿	8	9			1
		二 ツ 井	5	5			0
		五 城 目	12	11			-1
		潟 上	28	28			0
		男 鹿 北	10	13			3
		山 本	12	11	0	0	-1
	能 代 白 神	14	12	5	0	-2	
中央	秋 田	秋 田	112	110	6	3	-2
		秋 田 東	83	80	5	1	-3
		秋 田 港	41	40			-1
		秋 田 北	55	57	4	0	2
		秋 田 南	42	41			-1
		秋 田 中 央	41	41	5	0	0
		秋 田 西	21	22			1
	本荘にかほ	本 荘	36	36			0
		矢 島	7	7			0
		象 潟	9	9			0
		本 荘 東	20	20	3	0	0
		本 荘 南	6	5	2	0	-1
南	大曲仙北	大 曲	53	58	5	4	5
		角 館	13	14			1
		大 曲 南	15	14	2	0	-1
		大 曲 中 央	11	12			1
		田 沢 湖	20	19			-1
		大 曲 仙 北	12	12	6	1	0
	横手	横 手	53	52			-1
		横 手 南	69	63			-6
		横 手 東	12	13			1
	湯沢羽後	湯 沢	70	67	2	3	-3
		西 馬 音 内	15	16			1
		湯 沢 南	21	19	1	1	-2
稲 川		15	15	3	0	0	
合 計			1,137	1,131	55	16	-6

※ 40歳未満の会員数は未記入のクラブが多いため回答があったクラブのみの集計